

連携だより

令和5年 **7** 月号

令和5年7月1日発行

独立行政法人 国立病院機構 
呉医療センター・中国がんセンター
地域医療連携室

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1
TEL 0823-22-3816
FAX 0823-32-3070

URL <https://kure.hosp.go.jp>

7月の花 サルビア



理念

思いやりのあるやさしい誠実な医療を提供します



今月号のトピックス

- 精神科紹介 精神科科長 町野 彰彦 1
- 特別講演
広島大学大学院医系科学研究科 腎泌尿器科学 教授 日向 信之 ... 3
- 開業医訪問 4
- TCSA勉強会を聴講して 地域医療連携室 副看護師長 片山 千雪 5
- 周術期管理センター立上げに際して
臨床研究部長 讃岐 美智義 外科医長 鈴木 崇久 6
- 新任医師紹介 7
- 患者・環境等サービス委員会活動報告 看護部長 神田 弘子 7

精神科紹介

スタッフ：町野彰彦、小林弘典、増田直哉、
長尾達憲、長尾崇弘

平素よりご高配を賜りありがとうございます。当科の紹介をさせていただきます。当科は日本精神神経学会専門医制度においては広島大学病院精神科のプログラム連携施設として専攻医を受け入れ、日本総合病院精神神経学会研修施設、電気けいれん療法研修施設に指定されております。

1. 医療圏

当院は呉市および広島県東部での唯一精神科病床を有する総合病院であり、精神科としての医療圏は、呉地区のみなら



左上から 長尾達憲、増田直哉、長尾崇弘
左下から 小林弘典、精神科科長 町野彰彦

ず、島嶼部、県東部、県北と広範囲に渡っております。

2. 対象疾患

器質性精神障害、統合失調症、双極性障害、うつ病、不安障害、強迫性障害、適応障害、摂食障害、アルコール依存症、自閉症スペクトラム、注意欠陥多動性障害（ADHD）など精神科全般に渡って診療を行っております。児童精神医学の専門医はおりませんが、高学年学童以上であれば診察させていただきます。ナルコレプシーや過眠症などの睡眠障害に関しては、当院では検査ができませんので、広島大学病院や睡眠専門クリニック等で診断された方の継続診療のみとなります。

3. チーム医療

- 1) 精神科リエゾンチーム：一般病棟に入院された身体合併症を持つ精神科患者さんや、身体科治療中に精神症状が出現した患者さんの治療を行います。精神科医、専門看護師、薬剤師、臨床心理士、精神保健福祉士からなる専門チームです。
- 2) 緩和ケアチーム：緩和ケア医師、精神科医、専門看護師、薬剤師で形成され、主としてがん患者さんの支援を行っております。
- 3) 認知症ケアチーム：入院患者さんは高齢化し、認知症やせん妄のリスクが高くなっています。精神科医、専門看護師、薬剤師、精神保健福祉士、管理栄養士によるチームがケアの方法を支援します。
- 4) 小児科患者さんの母子メンタルケア：臨床心理士が相談に乗り、必要があれば精神科受診に繋がります。
- 5) 周産期ハイリスク患者さんのケア：産婦人科医、助産婦、精神科医、精神科看護師などでチームを組み、精神的不調の可能性のある患者さんをフォローしています。

4. 当院の特徴

- 1) 広島県における精神疾患地域連携機能としては、うつ・自殺対策および身体合併症の県連携拠点、てんかんの地域連携拠点として指定されています。
- 2) 自殺念慮、昏迷状態、精神運動興奮など難治性の病態に対して、麻酔科の協力のもと、電気けいれん療法を行っております。遠方の病院からのご紹介も引き受けております。
- 3) 治療抵抗性統合失調症に対するクロザリルの治療実績から、令和3年度よりは統合失調症の県拠点病院に指定されました。
- 4) 精神疾患を持つ患者さんが、その精神症状のために身体疾患の治療が困難な時は、当科に入院して治療をしていただきます。
- 5) 低年齢化してきた摂食障害患者さんの入院依頼が増えております。リフィーディング症候群に気をつけながら急性期栄養補充療法を行っております。
- 6) アルコール関連疾患で入院した患者さんのなかで、治療を希望された方には、当科に入院していただき、アルコール依存症に対する心理教育を行っております。

5. 治験

統合失調症を対象とした治験を行っております。興味のある患者様がおられましたらご紹介ください。

6. お詫び

総合病院で働く精神科医は年々減って来ており、広島県では精神科医のいない病院や病棟閉鎖となった病院もあり、当院でもかつてに比較すると大幅に人員が削減されております。上記のようなサービスは総合病院精神科の使命と考えており、人員が減っても継続したいと存じます。そのために、2022年4月より50床の病床を31床で運用し、2023年4月よりは外来枠、初診枠を削減することとなりました。地域の先生方には、ご迷惑をおかけすることも多いと存じます。緊急の場合は広島県精神科救急システムをご利用いただくか、ご相談いただければ幸いです。どうかご理解のほど、よろしく願いいたします。

特別講演

「ロボット支援手術の現状と今後の展望」と題しまして、
ご講演いただきました。

広島大学大学院医系科学研究科 腎泌尿器科学 教授 日向 信之 先生

ロボット支援による遠隔操作手術は1980年代のアメリカ国防高等計画局とスタンフォード研究所による研究に端を発し、daVinci® surgical systemが2000年に米国FDAにより認可されると、同年にはロボット支援根治的前立腺全摘除術が初めて実施された。

これ以来、拡大三次元明視野と7自由度を併せ持ち、コンピューター制御された容易な鉗子操作を特徴とするロボット支援手術は、根治的前立腺全摘除術を中心として爆発的に普及し、現在までに手術支援ロボットは世界で約5000台が稼働し、600万症例以上に使用されることとなった。本邦では2012年に保険収載された根治的前立腺全摘除術に続き、2016年には腎部分切除術、2018年には膀胱全摘除術にも保険収載が進み、2020年には良性疾患に対する手術である腎盂形成術、仙骨腔固定術が、2022年には根治的腎摘除術、腎尿管全摘除術、副腎摘出術が保険収載され、泌尿器外科領域における腹部メジャー手術の殆どがロボット支援下に実施されることとなっている。

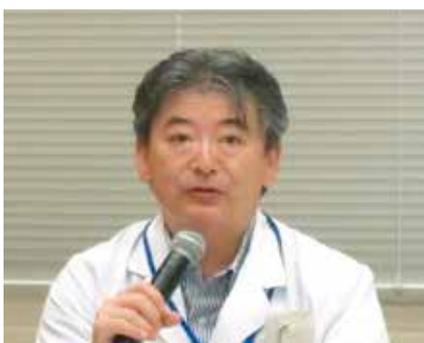
泌尿器科は将来的にもロボット支援手術の中心的診療科としてロボット手術領域を牽引していく必要がある。本講演ではロボット支援手術の現状ならびに今後の展望につき概説する。（抄録より）



会場風景



講演風景



座長 繁田副院長



三村呼吸器外科科長



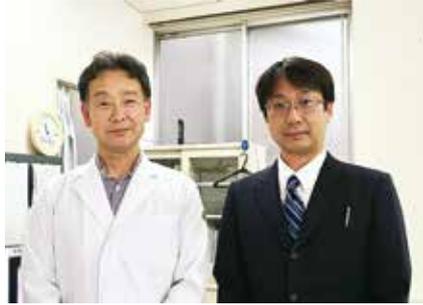
泌尿器科 福岡医師

開業医訪問

呼吸器外科科長 三村医師がご挨拶に伺いました。



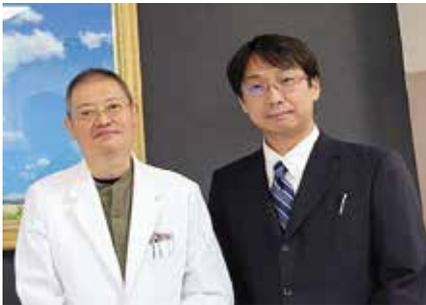
• かじまクリニック •



• むらい内科クリニック •



• 岡田医院 •



• 医療法人社団 向日葵会 角医院 •



• 医療法人 TaKuYu会 岸槌医院 •



• 医療法人 佐々木内科・呼吸器科クリニック •



• 医療法人社団 森本医院 •



• 福原内科クリニック •



• 医療法人社団 野間クリニック •

乳腺外科科長 吉山医師がご挨拶に伺いました。



• 医療法人 TaKuYu会 岸槌医院 •



• 久保整形外科・内科 •



• 医療法人 佐々木内科・呼吸器科クリニック •



• 杉医院 •



• 大宇根内科呼吸器科クリニック •



• 福原内科クリニック •

TCSA勉強会を聴講して

6月19日（月）TCSA勉強会を聴講しました。

地域医療連携室 副看護師長 片山 千雪

院内外から87名と多くの参加者が集まりました。

救命救急センター部長 岩崎泰昌医師の「重症度の高い敗血症における経腸栄養管理」では、経腸栄養の開始時期や、必要エネルギーの算出方法、なだらかな血糖推移となるようなコントロールの重要性や実践に即した注意点など、ガイドラインに照らし合わせながらわかりやすく教えていただきました。重症度の高い急性期の段階から段階的に経腸栄養をはじめることが、感染症コントロールや疾患の予後にも関係してくることが分かり、とても勉強になりました。

消化器内科 加藤尚宏医師の「胃瘻の管理について」では、胃瘻カテーテルの種類や適応基準、胃瘻挿入による合併症といった基礎知識から、注入時の腹部症状、皮膚症状、チューブ抜去など様々なトラブルに対する対処方法をQ&Aでわかりやすく教えていただきました。特に抜去時のとっさの対処については、実践に即した内容であり大変参考になりました。



消化器内科 加藤医師



講演会風景



救命救急センター部長 岩崎医師 質疑応答風景

周術期管理センター立上げに際して

周術期管理センターの役割についてご講演いただきました。

外科医長 鈴木 崇久

呉地区の患者層は年々高齢化が進み合併症の発生リスクも高くなっています。

原疾患だけでなく基礎疾患への適切な対処が求められており、基礎疾患スクリーニングが必要です。また手術を控えた患者・家族へのサポート体制が必要です。

そこで2022年度末より一部の診療科に限定して周術期管理センターの稼働を開始しました。センターの業務内容と目指す方向性について紹介いたします。

<周術期管理センターの目的>

- ①患者満足度の向上 ②タスクシフト/タスクシェア
- ③情報・リスクの多職種共有 ④周術期合併症の減少 ⑤コスト削減（抄録より）

臨床研究部長 讃岐 美智義

周術期センターは、患者の手術前後のケアを総合的に統括し、多職種チーム（麻酔科医、外科医、看護師、薬剤師、臨床工学技士、管理栄養士、歯科部門、リハビリテーション部門等）が協働してサポートを提供します。本講演では、患者の安全性と快適さを確保し、入院期間を短縮し、合併症を予防することを目指す周術期センターが担う役割と仕事内容について明快に解説します。（抄録より）



田代副院長 鈴木外科医長 讃岐臨床研究部長 繁田副院長



臨床医研究部長 讃岐医師



外科医長 鈴木医師



講演会風景

新任医師紹介

麻酔科

渡辺 和幸



専門 麻酔全般
資格等 日本麻酔科学会専門医
趣味 読書
ご挨拶 3年振りに呉医療センターに勤務することになりました。心機一転、新たな気持ちで呉での医療に取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願い致します。

眼科

望月 司



専門 眼科一般、白内障・緑内障
資格等 眼科専門医
趣味 読書
ご挨拶 これまで学んだことを活かして、呉の医療に貢献できるように精進して参ります。よろしく願い申し上げます。

患者・環境等サービス委員会活動報告

患者・環境等サービス委員会委員長 看護部長 神田 弘子

患者さんが診察や会計を待っている空間に少しでも癒しの絵があればと思い作成してみました。この絵を見ている時が、病気のことを少しでも忘れられる時間となればと願っています。



外来待合室風景

神田看護部長・東副看護部長・
外科系診療部長立川先生・
竹山副看護部長



ふじの山



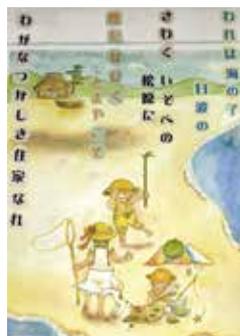
七夕祭り



かわいい雷様



立体的な七夕飾り



題名「なつかしい記憶」
小野田看護師作



竹山副看護部長・流田看護師長・
原田看護部長・神田看護部長・
永田係長

救急外来へのご紹介について

救急車で搬送する患者さんのご紹介は、救命救急センター医師が症状等を直接お伺いさせていただきますので、「救急外来受付」まで**電話でご連絡**いただきますようお願い申し上げます。

平日 昼間 8：30～17：15 ☎0823-22-3111
 土・日および夜間 17：15～8：30 ☎0823-23-1020

7月の時間外 研修会／勉強会



【連絡先】

独立行政法人国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 管理課 (教育企画部)
 広島県呉市青山町3番1号 / TEL:0823-22-3111 / 本-A* -3* : https://kure.hosp.go.jp/



研修会名	日 時	場 所	講 師 ※敬称略	担当部署	院外	対象職種
コメディカルのお薬勉強会 「医薬品の経腸栄養について」	7月10日 (月) 18:00~19:00	地域研修センター 1.2	呉医療センター 薬剤部 伊勢田 諭 野村 朋未	薬剤部	院内 向け	看護師 助産師 コメディカル
RCTオープンセミナー 「血ガスデータの読み方とARDSについて」	7月12日 (水) 18:00~19:00	地域研修センター 1.2	呉医療センター 救命救急センター部長 岩崎 泰昌	呼吸ケアチーム	院内 向け	全職種
TOSA勉強会 「みんなで学ぼう！ 褥瘡ケア」	7月18日 (火) 18:00~19:00	11階大会議室	呉医療センター 皮膚・排泄ケア認定看護師	栄養管理室	○	全職種
地域医療研修センター定期講演会 「急増するIBDの病態と診断のポイント」	7月19日 (水) 19:00~20:00	地域研修センター 1.2	呉医療センター 消化器内科医長 楠 龍策	管理課	○	全職種
医療機器安全使用に関する研修会 「補助循環装置 IABPについて」	7月27日 (火) 17:30~18:30	11階 カンファレンス室	呉医療センター ME管理室 村高 拓央	ME管理室	院内 向け	全職種



自己研鑽で専門性を高めましょう！！

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1-1
独立行政法人 国立病院機構
呉医療センター・中国がんセンター
 地域医療連携室
 河野 博孝 西岡 巧
 竹中 恵子 折本 陽一
 片山 千雪
 TEL: (0823) 22-3816